

南太平洋地域における家族と共同体

ノリエ & ドン・ブランクス

(要 旨)

人類の和合を説くバハオラの教えは、太平洋に住む人々に「小異」を克服して一致することの重要性を認識させている。

われわれが住んでいるトンガ王国は、ニュージーランドから1600キロ、フィジー島から600キロ、サモア島から640キロ離れていて、3つの諸島からなっている。人口は約9万3千人で、外国人は、アジア人とヨーロッパ人がほぼ同数で計4千人いる。トンガ語のほかに英語が使われている。

この地域の生活はまことに楽である。飢えも戦争もなく、急ぐ必要も全くない。こののんびりとした生活スタイルは、同時に進歩や変化を嫌う保守的な風土を数百年に渡って形成してきた。この影響は、宗教、家庭、教育、経済などのあらゆる面に見られる。

バハイの教えを広めるためには、このような社会的・文化的特徴を十分考慮する必要がある。保守主義は、変化に対して頑固に抵抗するものである。従って、変化をもたらすためには、忍耐、根気、理解、現実的な考え方が必要である。